

軽井沢絵本の森美術館 2024年夏展
北陸新幹線 福井延伸記念 特別展

「かこさとし 絵本への「まなざし」」

会期：2024年6月14日（金）～2024年10月14日（月）



©1973 Kako Research Institute Ltd. 『からすのパンやさん』(偕成社)より

©1973 Kako Research Institute Ltd. 『からすのパンやさん』(偕成社)より

東京～軽井沢～金沢を結んでいた北陸新幹線が、福井県敦賀まで延伸しました。これを記念し、昨年より軽井沢町と福井県は連携事業を行ってまいりました。その一環として、このたび軽井沢絵本の森美術館では、福井県出身の絵本画家「かこさとし」の特別展を開催する運びとなりました。

かこさとし(加古里子、1926-2018)

福井県武生市(現:越前市)に生まれました。東京大学工学部を卒業後、会社勤務をしながらセツルメント活動(工場労働者が多く住む地域でのボランティア活動)を始めます。その一環として、子どもたちに手作り紙芝居や絵本を作り、これが後の絵本作品につながります。そして1959年に福音館書店より『だむのおじさんたち』(現在は復刊ドットコム)を刊行し、絵本作家としてデビューしました。

【企画展概要】

タイトル	軽井沢絵本の森美術館 2024 年夏展
	北陸新幹線 福井延伸記念 特別展「かこさとし 絵本への「まなざし」」
会期	2024年6月14日（金）～2024年10月14日（月）
場所	ムーゼの森 軽井沢絵本の森美術館 第2展示館
開館情報	◆開館時間 9：30～17：00※最終入館は閉館の30分前 ◆休館日 火曜日 ※7月～9月は無休 ◆入館料 大人1,000円、中・高生700円、小学生500円、小学生未満無料 【エルツおもちゃ博物館とのセット券】大人1,500円、中・高生1,000円、小学生700円、小学生未満無料

軽井沢絵本の森美術館 2024年夏展

北陸新幹線 福井延伸記念 特別展

「かこさとし 絵本への「まなざし」」

会期：2024年6月14日（金）～2024年10月14日（月）

～はたらく人へ、子どもたちへ かこさとしの「まなざし」がこめられた絵本～

・「からすのパンやさん」シリーズ

『からすのパンやさん』は、1973年に偕成社から出版されました。続編に『からすのおかしやさん』『からすのややおさん』などがあります。もとは、かこが友人の結婚式に贈った『カア吉とカア子』という手作り絵本です。このシリーズでは、個性豊かなからすたちが、ときに助け合い、知恵を出しあいながらお店を切り盛りしていきます。からすたちの行動からは、お客さんへの真摯さ、仕事の大変さ、そして働くことの楽しさが伝わってくるようです。

・「だるまちゃん」シリーズ

代表作「だるまちゃん」シリーズでは、たくさんの「遊び」の知恵も見どころです。『だるまちゃん と てんぐちゃん』では、だるまちゃんはおもちで、てんぐちゃんのような鼻を作ります。さらに、まな板とひもで下駄まで作ってしまいます。

その他にも『だるまちゃんとかまどんちゃん』では、草花でおまごごとをしたり、身近なものを遊び道具に変えています。なんでも自分で作ってみようとするだるまちゃんの姿は、読む人に物作りの楽しさも教えてくれます。



かこさとし

『だるまちゃんとかみなりちゃん』

（福音館書店）

© 1968 Kako Research Institute Ltd.

また、『だるまちゃんとかみなりちゃん』では、「雲車（ウンカー）・雷車（ライカー）」があちこちを走り、「配膳移送機」がごちそうを運んでくれる、非常に近未来的なかみなりちゃんの町が登場します。かみなりちゃんの町の住人の姿を通して、科学技術を発展させてきた人々の力を感じ取ることができるのです。

・越前市かこさとし ふるさと絵本館「硯」（らく）との 連携イベント

軽井沢絵本の森美術館と、越前市かこさとしふるさと絵本館「石石（らく）」が連携し、スタンプラリーイベントを開催します。期間中、2館でスタンプを押した方に「からすのパンやさん」のイラストカードをプレゼント！

スタンプラリーの台紙となる、

かこさとし『たっくんひろちゃんのちょうちょうとつきゅう』（偕成社）

© 1997 Kako Research Institute Ltd.



【お問い合わせ先】

ムーゼの森 軽井沢絵本の森美術館 【TEL】0267-48-3340【E-mail】info@museen.org

〒389-0111 長野県北佐久郡軽井沢町長倉 182（ムーゼの森） FAX：0267-48-2006

企画展特集サイト <http://museen.org/event/>